



2020年度 児童発達支援 自己評価 集計結果

公表日:令和2年12月10日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓		パーテーションを使い空間を区切っている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	✓		曜日、時間によって差が出る事もあるが、フリースタッフの配置まで出来る日が多い。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	✓		1Fトイレは広く、手すりもある。入口もスロープをつけている。	階段が1段ずつ高いため手すりがほしい。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	✓		毎日の清掃、消毒実施、児童によって机やブースのセッティングを行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓		朝の打ち合わせ、振り返りが毎日行われていて同法人他事業所とはメール等で共有をしている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓		面談時に実地し、多くの方の意見をきけるようにしている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓		ホームページにて公表している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		✓	療育面では臨床心理士のSVを行っている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓		コロナウイルスの関係で法人全体での内部研修は控えているが各事業所でのSV実施がある。外部研修等のお知らせをして希望者は参加出来るように調整している。	
適切な 支援の 提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	✓		半年に1回見直し作り直している。日々のやり取り、保護者との情報交換からニーズも聞き出している。	
	11 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓		インテーク時には共通のアセスメントシートを使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか	✓		ガイドラインに示されている支援内容から適切な項目が選択され具体的な支援計画がなされている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	✓		計画を元に日々の支援内容を考えている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓		児発管、グループリーダーを中心に内容を計画、確認している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓		調理、運動、季節に合わせた工作などを取り入れた内容にしている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	✓		個別の療育を基本としながら子どもの状況や課題に合わせてサービスを提供している。子ども同士が関わるきっかけ作りをしている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
適切な支援の提供	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓		毎朝の打ち合わせで行っている。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓		毎日の振り返りで共有している。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓		日々の支援記録により実施している。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	✓		年2回モニタリングを行った上で保護者と個人面談をし、個別支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓		療育担当者や状況をよく把握したスタッフが参加している。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	✓		必要に応じて市町村の保健センターやその他の関係機関と連携をした支援を行っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		✓	保護者を通じて情報の共有を行い支援を行っている。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか		✓	保護者を通じて整えている。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓		移行支援に関わらず日々の療育の中で保護者等を通じて情報共有を行っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	✓		同上	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓		児童発達支援センターを含めた定期的な連絡会に参加し、連携している。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		✓	事業所主催のイベント(夏のイベント、クリスマスコンサート)では一般者も参加できる。	保育所や幼稚園との交流はない。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	✓		海老名市の自立支援協議会に参加している。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓		記録を毎回お渡ししている。又半年に1回面談を行い共通理解を持てるようにしている。	
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		✓	相談等は行っている。	相談等は行っているがプログラムまでは出来ていない。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓		新規の契約時、毎年の更新の時に十分に説明をする機会を使っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	✓		年に2回モニタリングを行った上で保護者と個別面談を行い、見直しをした個別支援計画を保護者に提示し、その同意を得ている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓		連絡帳でのやり取りや、メールでの相談にも応じている。又、年2回面談を行いゆっくり話をする機会も設けている。スーパーバイザー（臨床心理士）による相談窓口も開いている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	✓		今年度はコロナの為実施はないが毎年懇談会や茶話会の開催をしている。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓		苦情相談窓口の掲示と意見箱設置をしている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓		イベント等に関してホームページ上でお知らせをしたり、メーリングリストで情報を伝えている。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	✓		契約時に説明をし、写真意向書も取り十分注意している。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓		絵カードやスケジュールボード等、ケースに合せて使用している。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓		クリスマスコンサートや夏のイベント等利用者以外の方も参加出来るようにしている。	
	非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	✓		各マニュアルはファイリングし、全員が見られる所に置いてある。
42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		✓		年に1回以上の避難訓練を行っている。	
43 事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		✓		インテーク時に聞き取りをしている。予防接種においては確認していない。	
44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		✓		保護者からの聞き取りによって対応している。	
45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			✓	日々の打ち合わせで情報の共有は行っている。	事例集の作成には至ってない。
46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			✓	職員にガイドラインを配る等している。	
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか			✓	やむを得ず身体拘束を行う場合については契約書に明記し説明をしている。	支援計画に記載はしてない。



2020年度 放課後等デイサービス 自己評価 集計結果

公表日: 令和2年12月10日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
体制 環境、 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	✓			パーテーションを使い空間を区切っている。	
	2 職員の配置数は適切であるか	✓				曜日、時間によって差が出る事もあるが、フリースタッフの配置まで出来る日が多い。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	✓			1Fトイレは広く、手すりもある。入口もスロープをつけている。	階段が1段ずつ高いため手すりがほしい。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	✓			朝の打ち合わせ、振り返りが毎日行われていて同法人他事業所とはメール等で共有をしている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	✓			保護者にもアンケートを実地。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	✓			ホームページにて公表している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			✓	療育面では臨床心理士のSVを行っている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	✓			コロナウイルスの関係で法人全体での内部研修は控えているが各事業所でのSV実施がある。外部研修等のお知らせをして希望者は参加出来るように調整している。	
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			半年に1回見直し作り直している。日々のやり取り、保護者との情報交換からニーズも聞き出している。	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	✓			インテーク時には共通のアセスメントシートを使用。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	✓			児発管、グループリーダーを中心に内容を計画、確認している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	✓			調理、運動、季節に合わせた工作などを取り入れた内容にしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	✓			休日に調理や外出などを実施している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	✓			個別の療育を基本としながら子どもの状況や課題に合わせてサービスを提供している。子ども同士が関わるきっかけ作りをしている。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	✓			毎朝の打ち合わせで、行っている。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
適切な支援の提供	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	✓			毎日の振り返りで共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	✓			日々の支援記録により実施している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	✓			年2回モニタリングを行った上で保護者と個人面談をし、個別支援計画の見直しを行っている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	✓			個別支援計画にて複数の日程を設けている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	✓			療育担当者や状況をよく把握したスタッフが参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	✓			事業所連絡会等への参加や学校のホームページ等で確認している。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		✓		保護者を通じて整えている。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	✓			保護者を通して情報のやり取りをしている。必要に応じて直接やり取りをしている。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	✓			就労事業所等のケース会議に参加している。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	✓			児童発達支援センターを含めた定期的な連絡会に参加し、連携している。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		✓		事業所主催のイベント(夏のイベント、クリスマスコンサート)では一般者も参加できる。	児童クラブとの交流はない。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	✓			海老名市の自立支援協議会に参加している。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	✓			記録を毎回お渡ししている。又半年に1回面談を行い共通理解を持てるようにしている。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		✓		相談等は行っている。	相談等は行っているがプログラムまでは出来ていない。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	✓			新規の契約時、毎年更新の時に十分に説明をする機会を使っている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	✓			連絡帳でのやり取りや、メールでの相談にも応じている。又、年2回面談を行いゆっくり話をする機会も設けている。スーパーバイザー(臨床心理士)による相談窓口も開いている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			✓	今年度はコロナの為実施はないが毎年懇談会や茶話会の開催をしている。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	✓			苦情相談窓口の掲示と意見箱設置をしている。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	✓			イベント等に関してホームページ上でお知らせをしたり、メーリングリストで情報を伝えている。	
	35 個人情報に十分注意しているか	✓			契約日に説明をし、写真意向書も取り十分注意している。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	✓			絵カードやスケジュールボード等、ケースに合わせて使用している。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	✓			クリスマスコンサートや夏のイベント等利用者以外の方も参加出来るようにしている。	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	✓			各マニュアルはファイリングし、全員が見られる所に置いてある。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	✓			年に1回以上の避難訓練を行っている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	✓			職員にガイドラインを配る等している。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			✓	やむを得ず身体拘束を行う場合については契約書に明記し説明をしている	支援計画に記載はしてない。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			✓	保護者からの聞き取りによって対応している。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			✓	日々の打ち合わせで情報の共有は行っている。	事例集の作成には至ってない。